



学校だより

令和5年 11月1日

東京都立小平特別支援学校

校長 阿部 智子

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「小平 PRIDE を胸に秘め、それぞれの活躍を！」

10月30日(月)から11月2日(木)の4日間、肢体不自由教育部門と病弱教育部門で、それぞれ会場は異なりますが、「病院内、オンライン、武蔵分教室内、本校教室内、体育館(アリーナ)」にて、文化祭が開催されます。10月は児童・生徒も、教職員も一発勝負の舞台発表に向けて綿密な打ち合わせと練習に余念がありませんでした。児童・生徒のそれぞれの活躍を楽しみにしていただきたいです。

今年度、肢体不自由教育部門は各学部の舞台発表を、学部を超えて全て御覧いただけるようにしました。

また、本校訪問籍生、病弱教育部門の展示発表を、本校1階渡り廊下スペースにて行います。ぜひ御覧ください。本校通学籍生の展示発表は、別途1月に行う予定です。

今年度は、特に入場に制限を掛けることなく外部の方も御参観いただきますので、入校時の検温と手指消毒、マスクの着用の御協力をお願いいたします。校内で物品、食品の販売は行っていません。

病弱教育部門は、病院ごとの学習発表をオンラインでつないだり、病院内のみの発表だったり病院関係者、保護者対象とさせていただきますので、外部の方々は参観することはできません。御理解のほどお願いいたします。

【第8回全国ボッチャ甲子園優勝報告に都庁訪問してきました。】



第8回全国ボッチャ選抜甲子園の優勝報告のため10月20日に都庁表敬訪問に出掛けてきました。都庁までの高速道路の遅れもよい思い出となりました。チーム4人、一人一人が、一言報告する機会をいただきました。キャプテンを務めた一戸彩音さんは「ボッチャ

甲子園では、野球の甲子園と同じように、仲間との強く深いきずなが生まれました。もっともっと参加校が増え、私と同じような経験をしてほしいです。」とコメント。MVPをとった池田晃琉さんは「大会当日は緊張でいっぱいでしたが、チームの仲間がフォローしてくれると思って安心して投げていました。チームの仲間感謝しています。」と、それぞれコメントをしていました。浜 佳葉子教育長から労いのお言葉をいただき、最後に参加者全員で記念撮影を行いました。チームの先輩後輩のつながりの中で、助け合い、相手を思い、感謝する気持ちを育むことを確認し合う貴重な時間となりました。生徒にこのような機会をいただけたことに感謝いたします。

【高校生書評合戦(ビブリオバトル)東京都大会に出場して】



10月22日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、令和5年度高校生言葉の祭典「高校生書評合戦(ビブリオバトル)東京都大会」に、校内大会で1位になった高等部1年加藤希さんが、小平特別支援学校の代表として出場しました。東京都内の高校生が136名参加する中で、予選会に臨む姿は、とても堂々としていました。発表の5分間の持ち時間をしっかりと確認しながら、冷静に本の紹介を行っていました。



当日は、朝から応援団として友達が駆け付けて、一緒に緊張しながらも、書評合戦を会場で観覧しました。「バトル」なので緊張感が張り詰めた会場の雰囲気でしたが、参加している各校の出場者の発表の後のディスカッションでは、決して相手の紹介する本を批判することなく、相手の意見を尊重して、とてもさわやかな予選会となりました。

準決勝、決勝の出場者は、表情豊かに自分の意見を展開していて、人を引き付ける話し方や、テンポ、本の提示の仕方など工夫が見られました。自分が手に取っている本をいかに相手に読んでもらえるようにプレゼンテーションができるのか、来年も挑戦して行きたいねと生徒と話をしています。新しい挑戦の第一歩でした。「チーム小平」の心持ちで、友達を応援に行く、という意識の高まりも大切な成長です。本について語り合う素敵な一日となりました。

書評合戦(ビブリオバトル)のルール

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッション(質疑等)を2～3分間行う。
- ④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

【決して、本を紹介している相手を批判せず、「読みたい本はどれか」を追求していく】

令和5年度言語活動及び読書活動の充実事業の指定校として、児童・生徒の言語活動の充実を図るために、小平特別支援学校では、「ビブリオバトル」の取組みを行っています。高校生書評合戦の公式ルールに則った校内大会を実施することの他に、本校独自のルール作りを行い、動画とPOPを使って3分間で発表する「小平ビブリオ」を昨年から行っています。「小平ビブリオ」は、本を通しての全校児童・生徒のコミュニケーションの会とするために、作成した動画とPOPを各学部でそれぞれ視聴できるようにして、図書コーナーに設置した質問用、感想用の掲示板での、カードを使った児童・生徒同士のやり取りで、どの本が読みたくなったのかを考えていきます。

児童・生徒は自分と違う発想からくる、新たな視点の考え方に触れたり、今まで興味をもたなかったジャンルの本を手にとってみたりと、他の人の考え方を知り、紹介された本を読んでみようか、と考えるようになってきました。

今年度の「小平ビブリオ」は、動画視聴・メッセージカード作成期間が11月27日(月)から12月1日(金)の5日間です。学校にお立ち寄りの際には、ぜひ児童・生徒の取組を御覧いただければと思います。

【学校運営連絡協議会・学校評価アンケートありがとうございました】

令和5年度の学校評価アンケートを実施させていただきました。今年度もアンケートをフォームと書面で用意し、提出しやすいハイブリッド方式で御回答いただきました。

今年度は、保護者の皆様に学校に御来校いただく機会が増えています。授業参観や、給食試食会、進路講演会、保護者会など直接学校の様子を見ていただけるようになりました。PTAの「ハピこだブック」の皆様の読み聞かせや、本の修理や整理などの活動も毎週定着していて、PTA主催の講習会で絵本専門士を講師にした勉強会も計画していると伺いました。アンケートではここ数年、図書の活動ができていないという御意見が多かったのですが、PTAの協力の下、子供たちの言語能力の向上、読書活動の充実を図っていきたくと考えています。

アンケートの集計結果に関しましては、学校運営連絡協議会で委員の皆様に御意見をいただき、学校の課題解決に向け、保護者会等で御報告させていただきます。御協力ありがとうございました。

【ハンドサッカーの部活動が始まります】

本校では、2月17日(土)の東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会に向けて、11月18日(土)からハンドサッカーの部活動の練習が始まります。ハンドサッカーは、一つのボールを複数人で扱う、対面型の集団球技です。コロナ禍では、消毒を密に行い、関わりを少なくしながら練習に取り組んで、フィールドプレー時に、人と人との接触が極力ないような形で行って来ました。今年度も、感染には十分に気を付けながら、充実した部活動ができるように工夫してまいります。

寒くなってくる時期でもあり、気候の変化に伴い体調を崩す児童・生徒も増える時期ではあります。しかし、コロナ禍を経て、出場校もまたもとのように増えて、肢体不自由特別支援学校間での熱いバトルが見られるようになればと願っています。

校長 阿部 智子